

経営比較分析表（令和6年度決算）

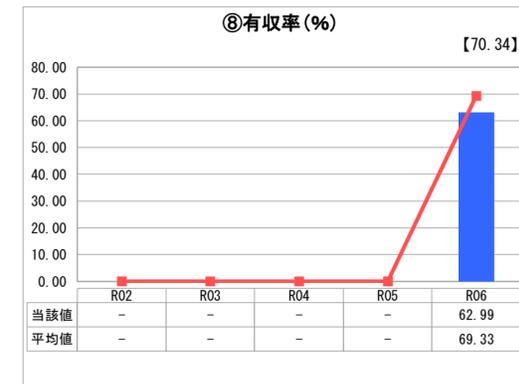
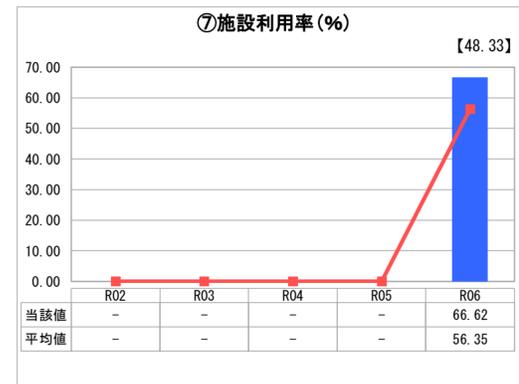
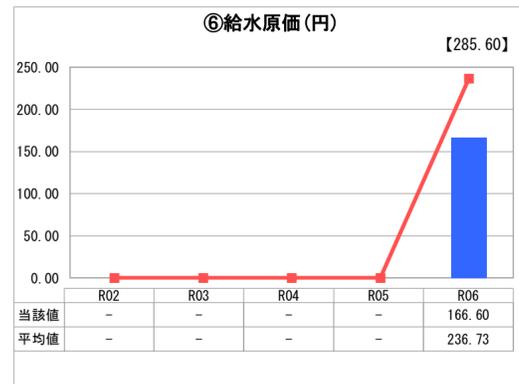
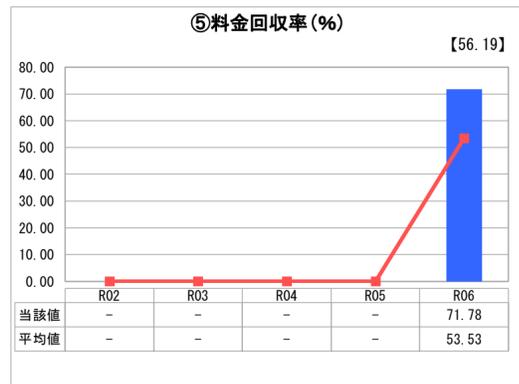
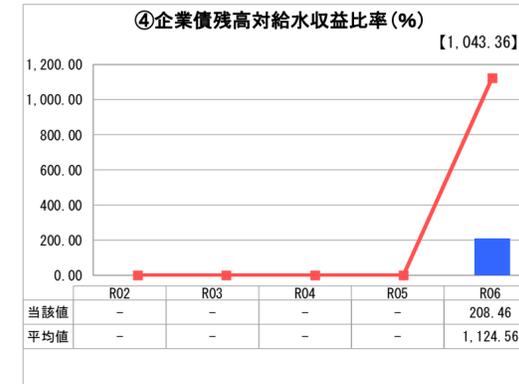
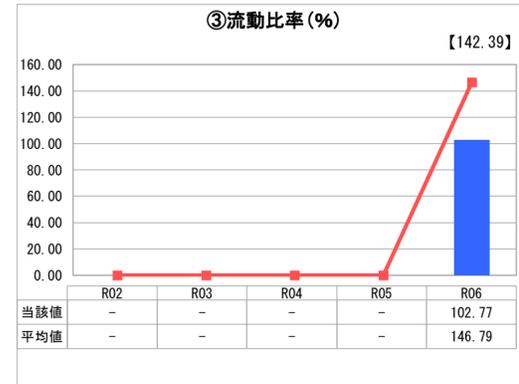
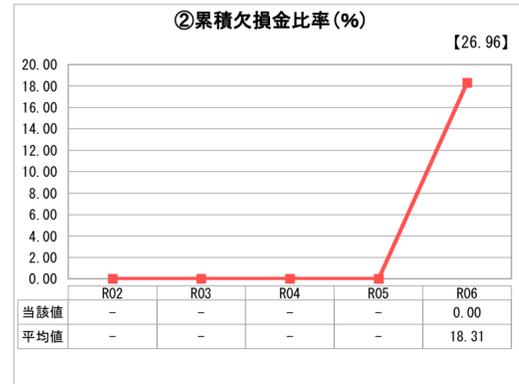
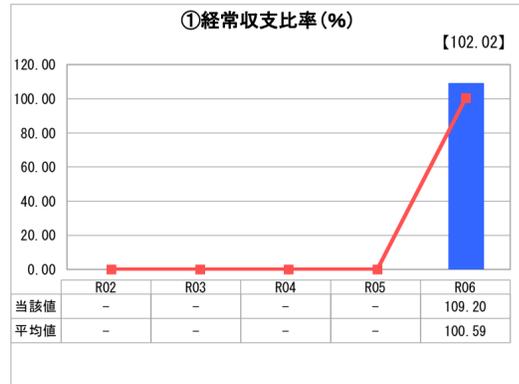
福井県 おおい町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	91.74	99.36	2,200	

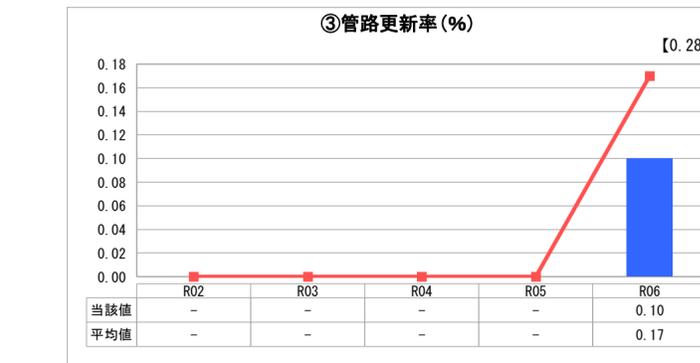
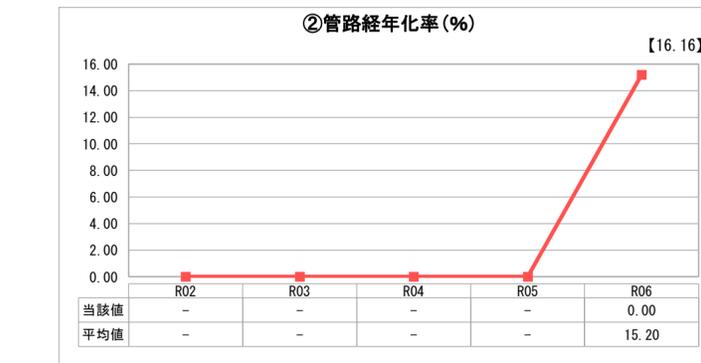
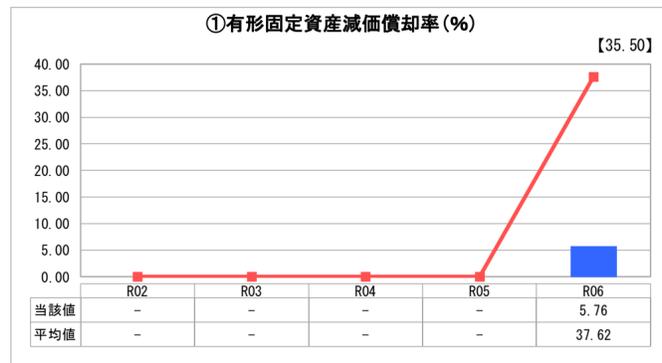
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,681	212.19	36.20
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
7,586	4.63	1,638.44

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益性・財務の健全性
経常収支比率は109.2%と黒字を確保しており、収益と費用のバランスは良好であり、短期的な収支の健全性は高い。また、欠損金を抱えておらず、財務基盤は安定している。
- 流動性
流動比率は102.77%と最低限の安全水準を確保しているが、類似団体平均(146.79%)や全国平均(142.39%)と比べると低い。短期的な支払能力には一定の注意が必要である。
- 企業債残高の状況
企業債残高対給水収益比率は類似団体平均や全国平均に比べ208.46%と低い水準にあり、負担は軽いと言える。
- 料金回収率・給水原価
料金回収率は71.78%と、必要経費を料金収入のみで賄っていない状況である。類似団体平均(53.53%)や全国平均(56.19%)よりは高いものの、依然として収支改善の余地がある。
給水原価は166.6円/m³と、類似団体平均(236.73円)や全国平均(285.60円)より低く、効率的な事業運営ができています。
- 施設利用率・有収率
施設利用率は66.62%と類似団体平均や全国平均を上回っており、施設の稼働状況は良好である。
有収率は62.99%と類似団体平均(69.33%)や全国平均(70.34%)を下回っている。漏水対策の強化により改善の余地がある。

2. 老朽化の状況について

- 減価償却率
有形固定資産減価償却率は5.76%と非常に低く、類似団体平均(37.62%)や全国平均(35.50%)と比べて著しく低い。事業規模に比べ、更新投資が進んでいないことを示唆している。
- 管路更新率
管路更新率は0.1%と低く、類似団体平均(0.17%)や全国平均(0.28%)を下回っている。現状の更新ペースでは将来的な老朽化に対応しきれない可能性があるが、現在策定中のアセットマネジメント計画の中で管路更新計画も策定し、計画的な管路更新を行う予定である。

全体総括

おおい町簡易水道事業は、経常収支比率や累積欠損金比率などの財務指標が良好であり、短期的な経営の健全性は高い。給水原価が高いことから、効率的な事業運営が行われていると評価できる。

一方で、流動比率の低さや料金回収率の不足など、中長期的な財政運営において留意すべき点も見られる。また、管路更新率が低く、将来的な老朽化への備えが十分とはいえないため、計画的な更新投資の確保が重要となる。

総じて、現時点では健全な経営が維持されているものの、将来の更新需要に備えた財政基盤の強化と、効率化のさらなる推進が求められる。